



桃山高校教育企画推進部
探究通信 No.2
令和5年5月10日発行

各学年でGS探究の授業がスタートしています。

☆一年生：GS 探究Ⅰ 探究学習とは

これから3年間の探究学習を行うにあたり、当初の授業では「仲間とともに考える」活動を実施しています。対話のルール（全員が必ず発言する・人の意見を評価しない・相手の意見を引き出す）を意識しながら疑問を共有したり、アイデアを出し合ったりするグループワークを行いました。



『信号機について疑問を挙げてみよう。』単純な問いですが、いざ考えてみると自分ひとりで考えられる疑問には限界があります。しかし、ペアワークやグループワークを通して、互いに意見を交流することで考えが深まり、やがて議論に発展していきました。最終的には自分たち独自の課題を発見したり、理想の信号機を考えたりする班もありました。他者との対話を通して考えが広がるだけでなく、より深く考えることができ、さらに考えることそのものの楽しさを実感できたのではないのでしょうか。

☆二年生普通科：GS 探究Ⅱ ペーパードロップ

普通科では各自の課題研究に取り組む前に、研究の型（課題設定→仮説→検証→結果→考察）を理解するための実験を行っています。紙を落下させるだけの単純な実験ですが、自分たちで課題を設定し、グループで様々な工夫しながら研究を進めています。



☆三年生：GS 探究Ⅲ 個人論文作成

普通科・自然科学科ともに、二年生で実施した課題研究の内容を個人論文にまとめています。論文とは、自分たちの実施した研究を整理して記録し、その成果を発表するために書くものです。一年かけて取り組んだ研究ですから、正確に読み手に伝わる作品に仕上げたいと思います。



☆一年生 GS 探究Ⅰ 他者との対話を通して（授業の感想）

- ☆話し合いの中でメンバーの特徴やそれと比較した自分の特徴を知ることができた。
- ☆みんな意見を出すのが上手で、すごく共感したり、なるほどと思ったりした場面が楽しかった。
- ☆人と話す中で、自分の考えがどんどん深まっていくのを感じた。友達が「うんうん」と聞いて、（私の意見を）引き出してくれたからだと思う。
- ☆みんなで話すと自分にはなかった視点の意見を聞けたり、自分の考えも深まったりするんだなと思った。小さなひっかかりがたくさんの疑問を生み出すんだと思った。
- ☆「なぜ」だけじゃなくて「どこ」や「いつ」などの他の疑問詞も使うことでたくさんアイデアが出せた。
- ☆アイデアが浮かばなくなったら、自分がそれまで出したアイデアの共通点を見つけて、方向転換することが大切だと思った。
- ☆もっと考えられるように、考える癖をつけていきたい。
- ☆脳みそが2つあるみたいでかなり得な気分になった。
- ☆「なぜそれが（自分には）思いつかなかったのだろう」と思うこともあった。
- ☆この世の中にあるものは誰かの疑問からなるものもあるのかなと考えた。
- ☆この世の中には生活しているだけで、違和感や不便なことが多くあります。まずは違和感に気づくことから始めたいです。
- ☆少しのことでも質問したりしたいなと思った。
- ☆体系的な考えだけでなく、文化的、芸術的な観点からも考えることが大切だと思った。
- ☆資料（信号機）を見た上で“見て分かる事”、“製造する立場から分かる事”、“使用する立場から分かる事”など様々な立場で一つのもの考えることが大切だと思った。
- ☆最初は単なる思い付きの発表の場だったのが、後半になると“話し合い”になっていました。人の意見を聞くということは自分の視野を広げるので、意見を共有したことでさらに違う視点で話し合うことができたのではないかと思います。私はこの授業を通して、探究というのはこういうことなんだと実感しました。
- ☆自分の意見や考えに自信をもって具体的に相手に伝えようとする力も必要だと感じるようになりました。
- ☆社会の中でも様々な疑問があると思うし、それを探究していくとさらに面白い世界が出来上がるのだと思った。



☆桃山高校5つの『C』

桃山高校ではこれからの時代に必要とされる資質・能力『5C』を掲げています。GS 探究や課題研究、そして高校生活全般を通してみなさんに身につけてほしい力だと考えています。

- ☆Critical thinking and problem solving（批判的思考力・問題解決能力）
- ☆Creativity and innovation（創造力と革新力）
- ☆Collaboration（協働力）
- ☆Communication（コミュニケーション力）
- ☆Challenge（挑戦力）

